

MELON 情報紙

Miyagi Environmental Life Out-reach Network



2020年6月★第134号

私たちにどんな未来が、どんな希望があるのか

理事長 長谷川 公一

MELONの会員のみなさま

半年前には予想だにできなかったコロナ禍のもとで、それぞれにユーウツな日々をお過ごしのことと思います。さまざまなご苦勞の渦中と拝察いたします。3.11のときも大変でしたが、あのときはこれから少しずつ復興に向かっていくなか、「最悪」はもう脱したんだという希望がまだありました。今回は事態の収束がいつになるのか、第二波・第三波がどうなるのか、誰にも出口が見えない、先の読めないもどかしさがあります。

コロナ後の世界・社会がどうなるのかも、世界的な大問題です。テレワークは確実に定着し、AIがいよいよ浸透していくでしょう。

東京のような大都市圏で生活することのリスクや脆弱性も、あらためて顕わになりました。地方都市や農山漁村に住むことの再評価が加速されるのではないのでしょうか。

コロナ禍の渦中で読んだ本の中で刺激的だったのは、若い友人でもある除本理史さん、佐無田光さんの共著の『きみのまちに未来はあるか?』岩波ジュニア新書(2020年3月刊)です。地域の「根っこ」を見つめ直す、をキーワードに、飯舘村・水俣市・金沢市・奥能登の地域づくりを紹介しています。

とくに刺激的だったのは、金沢市の文化的まちづくりです。金沢市は人口46万、仙台市の半分弱の都市規模

です。仙台市と金沢市とどちらがより魅力的なまちなのか。金沢らしさに対して「仙台らしさ」とは何か。「都市の格」としてどちらが上位なのか。両都市の歩みの違い、その違いが何に由来するのか等々、大いに考えさせられ、真摯に反省させられます。

コロナ問題は、その仕事は、その案件は「不要不急」ではないのか、と鋭く迫っています。

地域は「きみのまちに未来はあるのか?」を問われ、市民団体は「きみの団体に未来はあるのか?」を突きつけられています。その答えの中からこそ希望が湧いてきます。

MELONも、市民に選ばれ、活動を評価される団体なのかをあらためて問われています。環境団体MELONがこの難局の渦中で何ができるのか、今こそ何をすべきなのか。

会員のみなさまから、是非建設的なご意見をいただきたいと思えます。



長谷川理事長

理事長 長谷川 公一

MELONとは 公益財団法人 みやぎ・環境とくらし・ネットワーク ― 通称「MELON」。1992年の地球サミットをきっかけに翌'93年に誕生しました。緑と水と食をとおして環境とくらしを考え、地域と地球環境に寄与しようと多くの市民、学者、知識人、協同組合、企業、団体が作られたNGO(非政府組織)です。地域と地球環境を守るため1人ひとりの参加と協力をつなぎます。

MELON 会員募集

MELONの活動は会員の会費で支えられています。

MELON会員特典

- MELON主催イベントに会員割引で参加できます。
 - ごみや水、緑や食、自然エネルギーや企業の環境の取り組みなどをテーマに勉強会や見学会を行う部会に参加できます。
 - ボランティアや部会に参加することでボランティアポイントが1個もらえ、5個集まると1,000円分のMELON商品券と交換できます。
 - MELONの活動や環境情報を掲載した情報紙をお届けします。
 - メールアドレス登録で、会員同士の情報交換ができるメーリングリストに登録できます。
- ～入会希望の方は事務局までお問合せください～

Index

- P1 「私たちにどんな未来が、どんな希望があるのか」
長谷川公一理事長
- P2 「社の都で気候変動を訴える若者たち」
／宮城の海で海洋プラスチック問題を調査中!
- P3 すぐにできる気候変動への適応「熱中症対策」!
- P4-5 仙台オーガニック食べ歩きマップ×仙臺農塾
- P6 令和元年度うちエコ診断結果から考えてみよう!
省エネやってみよう♪
／かんきょう見聞記「対岸の火事ではない」
- P7 静岡県地球温暖化防止活動推進センター訪問記(中編)
／目指せ100人! 環境リレートーク 佐藤好宣さん
- P8 トピックス／イベント一覧／編集後記

団体名 Fridays For Future Sendai

「杜の都で気候変動を訴える若者たち」



「デジタル気候マーチ」

皆さま、はじめまして。私たちはスウェーデンの若き環境活動家グreta・トゥーンベリさんの呼びかけのもと、世界各地で結成された学生環境団体Fridays For Futureの仙台支部です。私たちFFF仙台は、科学的根拠に基づいて気候問題に取り組み、気候変動が誘発する多くの社会問題の解決を目指しています。活動内容は毎週金曜日に東北大学で気候変動の啓発活動、グローバル気候マーチの企画・運営、オンラインイベントの開催や勉強会などです。

4月24日には「デジタル気候マーチ」というアクションをオンライン上で行いました。「#気候も危機」というハッシュタグをトレンド入りさせて、多くの方々に気候危機の深刻さを周知する事を目的としたこのアクションは、わずか2時間で6000件以上もツイートされ、目

的を達成する事ができました。当日は仙台と岩手のFFFで初のオンライン交流会を行い、活動内容や気候変動問題への意気込みを共有しました。その後は全国各地のFFFメンバーとも交流、共有し、より一層結束力を高めました。

FFF仙台は今後も気候正義を掲げ、多くの人に気候危機の実態や危険性を伝えるとともに、他の環境団体の方々と連携しながら、企業や仙台市、宮城県に対して具体的な対策を求めています。

FFF仙台は今後も気候正義を掲げ、多くの人に気候危機の実態や危険性を伝えるとともに、他の環境団体の方々と連携しながら、企業や仙台市、宮城県に対して具体的な対策を求めています。

Fridays For Future Sendai 代表 ときとうはるひさ 時任晴央
連絡先 fffsendai@gmail.com



Fridays For Future Sendaiの仲間たち

宮城の海で海洋プラスチック問題を調査中！

初夏の風と日差しのもと、仙台市荒浜にある深沼海水浴場で、海洋プラスチックごみ調査を行いました。今年で3年目です。今、海にある大量のプラスチックが大きな問題になっています。生き物がプラスチックを食べてしまってかわいそうということだけではないのです。私たちが普段口にする魚や貝からもプラスチックが見つかるようになりました。ついに水から見つかった例も報告されています。MELON 4R部会では、私たちの食の安全安心を守るため、今後行政や漁業関係者とも協議を行っていきます。その前に足元の宮城ではどのような影響が出ているか、本格的



4R部会の会員がプラスチックを採集中

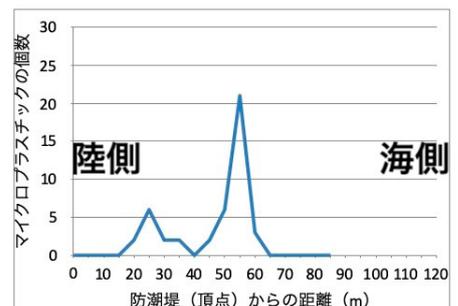
に調査を行うべきだと考えています。今回の調査では、砂浜の中で、海岸からどのくらいの位置にプラスチックが多いかを調べました。結果としては砂浜の中間あたりに固まっていることが判明しました。今後、この調査を海岸全体で行うことで、宮城の海岸に溜まっているプラスチックごみがどんな種類で、全部でどれだけ多いかを具体的に、数字で示せます。

に調査を行うべきだと考えています。

今回の調査では、砂浜の中で、海岸からどのくらいの位置にプラスチックが多いかを調べました。

結果としては砂浜の中間あたりに固まっていることが判明しました。今後、この調査を海岸全体で行うことで、宮城の海岸に溜まっているプラスチックごみがどんな種類で、全部でどれだけ多いかを具体的に、数字で示せます。

このデータを基に、今後仙台市や宮城県、漁業関係者の方と対策を考えていきます。調査は今後も1、2ヶ月に1度続けていきます。ご興味ある方はぜひご連絡ください。



海岸と防潮堤の間で、プラスチックの量はどう変わるかのグラフ

すぐにできる気候変動への適応「熱中症対策」!

さまざまな影響を起こす気候変動。「気候変動」と聞くと真っ先に思い浮かぶのが「気温上昇」ではないでしょうか。ここ数年は毎年のように気象に関して「これまでに経験したことがない」、「観測史上初めて」といった表現をよく聞きます。特に暑さは身近な異常気象です。

2018年には全国各地で40度を超える記録的な猛暑となり、仙台市内でも37.3度と観測史上最高気温を記録しました。気象庁の臨時記者会見では「命の危険がある暑さ。一つの災害と認識している。」と言われたほどです。昨年は5月に真夏日を観測した地域もありました。そこで心配になるのが「熱中症」です。

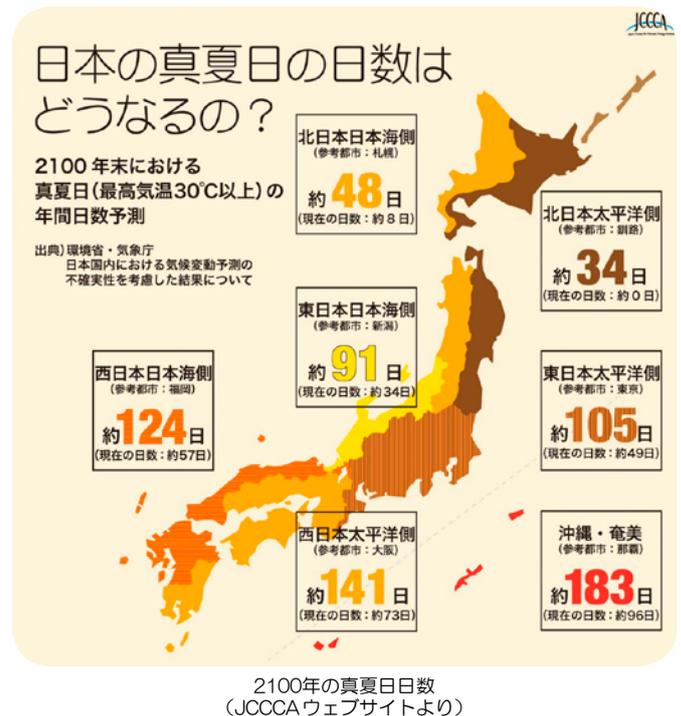
熱中症による搬送者・死亡者数は年々増加傾向にあります。さらに2100年における真夏日の年間日数は全国各地で現在よりも倍以上の日数になるとも予想されています。

では、熱中症を予防するために何をすればいいのでしょうか。

外出する時は「こまめな水分補給」「帽子・日傘の活用」など気にしている方も多いと思いますが、室内ではどうでしょうか。実は熱中症は室内での発症が一番多いのです。室内にいる時もしっかり対策をすることが大切です。

室内の暑さ対策と言えばクーラーや扇風機! 冷たい空気は下にたまる性質を持っているため、クーラーを背にするように扇風機（もしくはサーキュレーター）を置き、空気を循環させることで涼しくできます。室温は28度以下にすることが大切です。室温を確認するため温度計を置くことも効果があります。水分補給もこまめにしてくださいね。

また窓から熱が入る割合は7割! 窓辺から差し込む



夏の日差しを遮ることも大きな効果となります。グリーンカーテンやレースのカーテンなどで遮ることで省エネ効果もアップします。

他にもっておきな方法が「スイカを食べる」です! スイカは水分だけでなく熱中症予防に大切な栄養素がたっぷり含まれています。スイカに塩をかけて食べれば塩分も取れて効果抜群です。

さらに、環境省の熱中症予防サイト (<https://www.wbgt.env.go.jp/>) では暑さ指数や熱中症の対処方法など掲載されていますのでぜひチェックしてみてください!

教えて! ○○先生!

熱中症対策について専門家に聞いてみました。



鈴木 智恵
(MELON 理事、気象予報士、熱中症予防指導員)

Q

熱中症予防にはどんなことを気をつけたらいいの?



A

気温が高いだけではなく、湿度が高い時にも汗が蒸発しにくく体温が上昇して熱中症が発生しやすくなります。また、直射日光や照り返しを避けるだけでも身体で感じる温度は変化します。梅雨の晴れ間や梅雨明け直後、真夏は要注意。喉が渴く前に水分補給をしたり休憩をとりながら熱中症を予防しましょう。



仙臺農塾 は宮城の食を美味しく楽しみながら学ぶ大人の食育講座です。2012 年より開催、今年で9年目に入りました。

オーガニック食材を提供しているお店の紹介マップができました。作製した Organic Week Sendai 実行委員会では、毎年オーガニックに関するイベント等を一定期間設け、オーガニックに触れ、意識を高めています。

生産者と消費者による自律的で、だれにも強制されないオーガニック運動は、まさに自主的な市民活動です。いくつかのお店で仙臺農塾も開催しています。今回はその一部をご紹介します。その良さを広めていきませんか。

(すべてがオーガニックとは限りません。詳しくはお店までお問い合わせください)

ホームページでも MAP やお店の紹介が見れます！
(<https://www.organicweek.jp>)

1 オーガニックマクロビ café おひさまや (青葉区中央4丁目8-17)

主なオーガニックメニュー

おひさまごはん(ランチプレート)、季節の野菜パスタ、玄米野菜カレー、玄米おにぎり各種スイーツ。

こだわり

旬のオーガニック野菜でできるだけ地元の野菜で作ります。スイーツもオーガニック食材で、卵・バターなどをあまり使わないものを提供しています。

【テイクアウト・ケータリングも有り】

2013年1月16日

Vol.1 第3回「県南の有機農家に聞く、ホントの話」

ゲスト：三田 さえ子さん(村田町有機栽培農家)

三田さんから、震災後の有機農業について伺い、あらためて食が人の命を支えると感じさせられた講座でした。



2 地酒時料理 太左ヱ門 (青葉区国分町 2-15-2 グランパレビル 1F)

主なオーガニックメニュー

仙台せり鍋

こだわり

地酒と地料理にこだわり、地元の食材で作る和食料理屋です。

2015年3月25日

Vol.3 第7回もんでんさんに聞く「栗原市での有機稲作暮らし」

ゲスト：門傳 仁さん(米農家、もんでん農場、門傳醸造株式会社取締役社長)

門傳さんの会では、徐々に農業を減らしたり、厳選したりするようになったら、田んぼが変わっていったということでした。お店のご協力もあり、とても活気のある会となりました。

2019年6月5日

Vol.7 第4回「実り豊かな里山の作物と農泊」

ゲスト：渋谷 文枝さん(ふみえはらはん代表)

県内で先駆けて農家レストランを作り、農家民宿にも携わっている渋谷さんから、合鴨農法のことや里山での暮らしなどのお話を聞いて、楽しく交流しました。



3 veggie by Y (IB Star Garden) (青葉区中央4-9-7 井上ビル2F)

主なオーガニックメニュー

“厳選農家”の焼き野菜

こだわり

オーガニック野菜を使うにあたって、大人はもちろん子どもにも美味しいと言っていたいただけるような分かりやすく印象に残る料理にするように心がけています。

【テイクアウトも有り】

2016年10月26日

Vol.5 第2回「自然に寄り添うお米作り～土と植物と、あとは人の手間だけ～」

ゲスト：太田 俊治さん(無堆肥・自然栽培実践農家 米の太田屋代表)

自然農法を実践されている太田さんから、自然本来の力、循環の不思議さなど、美味しい料理をいただきながら学びました。

2017年10月11日 Vol.6 第1回「椎茸がつかなく、里山今昔物語」

ゲスト：芳賀 裕さん(森のきのこ運営責任者)

登米市東和町で原木椎茸栽培を営む芳賀さんから、栽培を通じた里山との関わりや震災による影響、そこから生まれたつながりなど、お話を伺いました。



5 kaffe tomte (青葉区立町 18-12 ライオンズマンション西公園第 3-103)

主なオーガニックメニュー

日替わりランチ、ディナー(ディナーは日・月・火曜日のみ)

こだわり

地元や近県で取れた新鮮で力強い旬の無農薬野菜とこだわりの手作り調味料などで作ります。その日の食材でメニューが決まるため、毎日違うジャンルメニューで提供しています。

【テイクアウトも有り】

2015年12月5日 Vol.4 第4回「美味しい林檎の物語」

ゲスト：結城 翔太さん(巨理町結城果樹園)

リンゴ農家さんである結城さんから、リンゴづくりの1年間をストーリー仕立てでお話伺いました。リンゴの貴重なパートナーのミツバチのお話もありました。

2017年6月7日 Vol.5 第7回「山の恵みと保存食～人の知恵が生んだ美味しさの秘密」

ゲスト：宍戸 志津子さん(丸森町の生産者・野菜ソムリエ)

ヤーコンやブントレッラなど約40種の野菜を栽培してらっしゃる宍戸さんより、野菜をふんだんに使った料理を味わいながら、丸森町の紹介なども交えたお話を聞きました。



4 居酒屋 仙さち (青葉区国分町 3-1-15 IINE 仙台ビル 1F)

主なオーガニックメニュー

各サラダ等

こだわり

東北、宮城にまつわる食材を手作りで。竹鶴ファーム、久慈ファーム、風天等の生産者さんから直接仕入れて、手作りでお届けしています。

【テイクアウト・ケータリングも有り】

2019年2月27日 Vol.7 第2回「井土の湧き水が育むネギ物語」

ゲスト：鈴木 保則さん(農事組合法人 井土生産組合 代表理事)

共に震災を乗り越えてきた同志たちが集まった、若林区にある井土生産組合。その代表(開催当時)の鈴木さんより、ネギ作りや湧き水が豊富な地元に関するお話を伺いました。

2020年2月28日 Vol.8 第2回「データに見るオーガニックの現状」

ゲスト：谷口 葉子さん(宮城大学 食産業学群 准教授)

オーガニック・ウィークを立ち上げた谷口さんから、オーガニックの現状について、また強い市民社会を目指すオーガニック運動について、有機野菜を味わいながら学びました。



制作

Organic Week Sendai 実行委員会事務局
特定非営利活動法人環境保全米ネットワーク内

<https://www.organicweek.jp/>

令和元年度仙台市消費者団体活動補助金を活用しています。

Organic Week Sendai 実行委員会は【NPO 環境保全米ネットワーク、朝市夕市ネットワーク、せんだい食育交流ネットワーク、農家のオーガニックマーケット実行委員会、みやぎ・環境とくらし・ネットワーク】で構成されています。

～MAP をご希望の方は
MELON 事務局までお問い合わせ下さい～



令和元年度うちエコ診断結果から考えてみよう！ 省エネやってみよう♪

全国と比べ、宮城県の家から排出されるCO₂は年に300kg多く、これは杉の木約21本が1年間に吸収するCO₂量に相当します。用途別で見ると、宮城県は「自動車」「暖房」「給湯」の順で多くなっています。しかし、その部分こそ対策をすることで光熱費・CO₂を削減する効果が大きく出るところなのです！

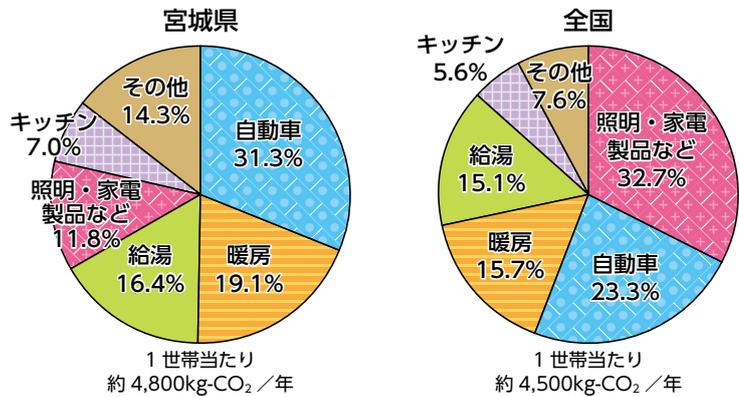
例えば「自家用車」であれば近場へ買い物へ行くときは、なるべく徒歩や自転車で移動することでガソリン代を減らすことができます。また、運動にもなり、普段見慣れている道も違う景色が見えてくることもありますよ。「暖房」では、ひざ掛けを掛けたり、もしくは1枚多く着たり、厚い靴下をはくことで体感温度が上がり、暖房の設定温度の見直しにもつながります。もちろん対策を実施するときは無理せず行うことが大切です。

私の家は光熱費使い過ぎ？ など気になった方は、ぜひうちエコ診断を受診してください！ 省エネ・省CO₂対策のエキスパートである「うちエ

コ診断士」が解りやすく解説いたします。

詳しくはストップ温暖化センターみやぎまでお問合せください！

家庭からのCO₂排出割合（用途別内訳）



宮城県のCO₂排出量は全国に比べて1世帯当たり約300kg-CO₂/年多い！

データ元：2019年度うちエコ診断結果 データ元：温室効果ガスインベントリオフィス 家庭からの二酸化炭素排出量（世帯当たり）（用途別内訳）（2017年度）



「対岸の火事ではない」

落語篇①

八代目林家正蔵「火事息子」
石垣政裕（MELON 理事）

昨年8月から豪州各地で、森林火災が続いています。今年に入っても延焼は続いていました。オーストラリアでは日本の半分規模の森林が消失しました。豪州固有の動物たちも危機に瀕しています。

アマゾンやアメリカ西部でもやはり森林火災が起きていますが、このような大規模な森林火災の発生には地球の温暖化も影響しているといわれています。温暖化によって、ある季節には異常な高温と乾燥に見舞われます。樹木が焼けるとCO₂が排出されるだけでなく、CO₂を固定化してくれる森林が消失することになりますから、温暖化は一挙に進むことになります。

さて、現地で消火にあたっている消防士の一人ひとりを思いやることも大切です。八代目林家正蔵の

「火事息子」（ザ・ベリー・ベスト・オブ落語、ユーキャン、2004年）を聞きましょう。

「火事に喧嘩は江戸の華」などと、江戸では大きな火事が度々起きていたようです。そのたびに先頭に立って活躍したのが、火消し人足の「臥煙」と呼ばれる人たちでした。

あるとき、神田で火事があって、延焼を免れるようにと、蔵の目塗りをしていた質屋の番頭の目の前に、はっぴ一枚で颯爽と臥煙の若者が登場する。いなせな若者は、かつて火消しに憧れ、この質屋の主人から勘当された若旦那でした。番頭の計らいで、若旦那は父親に会うことができたのですが、主人は勘当を許すことはありません。そこで、母親の機転が大切な働きをします。

早く、自粛がなくなって、寄席も元通りに開演されることを願っています。そして、ついでに誰か「地球が温暖化にあえいでいるのに『宇宙作戦隊』！？中東に自衛隊を派遣？！どこからが『水際』なんだよ！ 原発使用済燃料再処理って『不要不急』じゃねえのかい！？」こう啖呵を切ってくれないかなあ。

静岡県地球温暖化防止活動推進センター訪問記 (中編)

訪問日：1月28日（火）

訪問先：静岡市立日本平動物園
ふじのくに地球環境史ミュージアム
（後編にてお届けします！）

訪問者：吉田美緒事務局員



水浄化装置

静岡県訪問2日目！ 今回は、静岡県内にある施設2カ所を見学してきました。

しずおか未来エネルギー株式会社の村瀬光生こうせいさんに、動物園を案内していただきました。ここ日本平動物園は、レッサーパンダの聖地！動物

の中でもレッサーパンダは好きな動物第3位内に入る私にとっては、テンションが上がる場所。しかし、今回訪れたのは動物たちを見るだけではありません！

園内では、再生可能エネルギーを活用した取り組みが実施されています。例えば、水に浮かぶミニ太陽光発電！

太陽光発電で水中のスクリーンを回し池の水を回してきれいにしています。また、国内で再生可能エネルギーがどう活用されているのかについてのパネルも配置されています。

さらに動物園の入り口にある学習用シートを持って、ホッキョクグマやアムールトラなどの動物の観察を通して環境問題などが学べる学習プログラムも！ このプログラムは動物園の公式ウェブサイトに掲載されていますので、ぜひチェックしてみてください。（静岡市立日本平動物園ウェブサイト：<https://www.nhdzoo.jp/>）

前回の情報紙133号では、今回は「後編」とお伝えしていましたが、施設見学報告が1つでは収まり切れませんでしたので、次回が最終回となります。お楽しみに♪



パネルで表示も！



目指せ100人！ 環境リレートーク



第77人目の執筆者
佐藤好宣よしのりさん
(株式会社MITU 代表取締役)

仙台市沿岸部と大崎市古川で自然農園MITUという農園を営んでおります。

MITUは農園で育てた農産物や農業イベントなどを通して、ヒトの心や身体を満たしたいという意味を込めて名付けました。栽培期間中は化学農薬等を使用せず、環境に配慮した農業に取り組んでいます。

現在、農園では障がいのある方や引きこもり経験のある方など、さまざまな事情を抱えている方が農作業をしに来ています。不思議なもので、四季折々の季節感を味わい、太陽の光をたくさん浴び、土まみれになるほど作業を夢中になって行っていくたび

に、彼らの表情や心が変わっていきます。農園に来たばかりのときには、無口で無表情だった人がいつのまにか表情豊かで話をたくさんするようになったり、手足が少し不自由でネガティブな発言の多かった人が、いつのまにか畑の中をスタスタ歩きポジティブな人になっていたりします。

障がいのある方や引きこもり経験のある方が変わっていく姿を見ると、自然の中で生きていくことが、ヒトの心や身体を豊かにすると強く感じます。

これからもMITUとして、自然とヒトが繋がる場を創っていくことで自然の豊かさや大切さとヒトの心や身体を満たすコトを届けたいと思います。

連絡先：株式会社MITU <https://sizennouenmitu.com/>
info@sizennouenmitu.com

… 次号執筆者紹介 …
中山建さん（自然農場風天）



Facebook、Instagram、 YouTube 始めました!!

MELONでは、今回SNSを充実させました。よりタイムリーで有益な情報を発信し、皆さんとシェアして、エコで環境に優しいまちづくりに貢献していきます。皆さんからの情報もお待ちしています。フォロー・いいね！ よろしくお祈りします！



MELON イベント情報

これから開催を予定しているイベント・会議をご紹介します。

イベント一覧（7月～10月まで）
※予定が決まり次第、ホームページなどでお知らせいたします。

MELON フェスタは、現在調整中です。確定いたしましたら、ご連絡いたします。	
7/4（土）	水部会例会
7/30（木）	4R 推進部会 例会

Mauri！（こんにちは） キリバスと環境問題を伝える番組が 始まりました。

太平洋の島国キリバスの豊かな自然や文化と、地球温暖化による危機を、キリバス人のケンタロ・オノさんがYouTubeで伝えています。（一社）日本キリバス協会とMELONの共同企画です。見る方法はこちら→インターネットで「Youtube ケンタロ オノ キリバス物語」と検索！ ぜひご覧ください！

YouTubeで放送中



会員ひとこと〜

会員の皆さんの環境への思いやイベントに参加しての感想を声にしていきます。

5/14、若林区荒浜での海洋ごみ調査に参加した。繰り返しサンプルを収集する作業はなかなかたいへんだったが、海岸の場所によってごみの種類や量も異なることが分かった。ウミガメらしき骨があったのには驚いた。
（仙台市太白区在住 カメ人間さん）

編集後記

- 環境学習の教材づくりをしています。今年から新しくなった小学校の教科書を読んでいて、随所に環境問題や震災といった単語が出てきており驚きます。（畠山）
- 夜、換気のために窓を開けるとカエルの鳴き声が聞こえてきます。それをBGMにベランダでお茶を飲みながらしばらく景色を眺めて癒されています。（吉田）
- 最近、在宅ワークなど、ますますパソコン仕事が増えてきます。ついに私も似合わぬスマホをもち歩くようになりました。厳しい状況に負けないよう頑張ります。（山形）

〈会員状況〉

545名
法人 59
任意団体 10
個人 477
2020年4月30日現在

ボランティアポイントカード制度 をご活用ください

会員の方には、「MELON ボランティアポイントカード」を発行しています。部会・プロジェクトの例会出席、作業やイベントでのお手伝いをすると、1ポイント差上げます。5つ貯まると1,000円分のMELON 協力商品券と交換できます。



MELON 協力商品券とは

みやぎ生協、日専連仙台で発行している商品券です。金額の一部がMELONに寄付され、環境保全活動にいかされます。宮城県内の日専連加盟店及びみやぎ生協の各店舗でご利用いただけます。



この印刷物は、輸送マイルージ低減によるCO₂削減や地産地消に着目し、国産米ぬか油を使用した新しい環境配慮型インキ「ライスインキ」で印刷しており、印刷用紙へのリサイクルが可能です。